

## ZANDEN Model 120 の展開(93) ーベーターヴェンを聴き直す(28)ー

### 1. 始めに

前報(92)に引き続き、これまで聴いてきたベーターヴェンの盤を聴き直していきます。

### 2. Model 120 設定条件の試聴方法

カートリッジは、My Sonic Signature Gold で、接続に関しては、ZANDEN Model 120 の活用(33)同様、下記のとおりとします。すなわち、アンバランス/バランス変換プラグを用いて BACU-2000 経由で Model120 にバランス入力し、アンプは Langivin 6V6pp を使用しています。

今回も P&G のフェーダーに替えてパッシブアテネーターの TruPhase を使用し、RCA 入力→RCA 出力とします。なお、AACU-1000 は TruPhase の入力側と出力側にセットします。

LINN LP-12→(フォノケーブル)→(アンバランス/バランス変換プラグ)→(BACU-2000) →Model120(バランス入力端子→アンバランス出力端子)→(アンバランスケーブル)→(AACU-1000)→TruPhase→(AACU-1000)→(アンバランスケーブル)→Langevin 6V6pp

なお、LINN LP-12 の再構成(22)で報告しましたように LP-12 の電源を交換し、外付けとしています。また、LP-12 の軸受けをカルーセルに更新しています。

また、TruPhase のヴォリュームに、ヴォリュームアキュライザーの導入(2)で報告したヴォリュームアキュライザーVRA-7 を適用しています。

音源としては、これまで聴いてきたベーターヴェンの盤から選んでいきます。

今回は、ベーターヴェンの交響曲第 6 番を選定しました。

**PHILIP SX-7610**

交響曲第 6 番へ長調作品 68 「田園」

コリン・ディビス指揮 BBC シンフォニーオーケストラ

**Deutsche Shallplatten ET-5012**

交響曲第 6 番へ長調作品 68 「田園」

ヘルベルト・ブロムシュテット指揮ドレスデンシュターツカペーレ

これらは、下記で聴いています。

[アナログ再構成後の活用\(47\)](#)

[アナログ再構成後の活用\(48\)](#)

### 3. Model 120 設定条件の試聴結果

Model 120 の設定は、ZANDEN 社から提供されたリストを参考にして選択していきます。

ディビス盤は、RIAA、正相、第 4 時定数 High で聴いて行きます。

以前は、大雑把な感じがして、あまり良い印象を持っていませんでしたが、おおらかで豊かに音が漲るような演奏です。

ブ롬シュテット盤は、TELDEC、逆相、第 4 時定数 Mid で聴いて行きます。

若い頃のブ롬シュテットの指揮で、ドイツのオーケストラらしく折り目正しいところもありますが、一方、オペラの演奏を日常的に行っていることから、ダイナミックに歌うようなところもあります。

### 4. まとめ

これまでの試聴同様、前報(24)で報告しましたように ZANDEN Model 120 の導入、さらには、VRA-7 の効果も加わって、上記の曲の演奏のニュアンスがよく表現できるようになりました。

以上